

ダイワ・ゴールド・ ファンド (ダイワ投資一任専用)

運用報告書(全体版) 第 1 期

(決算日 2021年 5月14日)

(作成対象期間 2020年 6月 4日～2021年 5月14日)

★当ファンドの仕組みは次の通りです。

商 品 分 類	追加型投信／海外／その他資産（商品先物）		
信 託 期 間	無期限		
運 用 方 針	信託財産の成長をめざして運用を行ないます。		
主 要 投 資 対 象	ベビーファンド	ゴールド・マザーファンドの受益証券	
	ゴ ー ル ド ・ マザーファンド	次の有価証券および先物取引を主要投資対象とします。 イ. 米国の商品取引所に上場されている金先物取引 ロ. 日本国債 ハ. 米国国債 ニ. 金価格への連動をめざす米ドル建て E T F （上場投資信託証券）	
組 入 制 限	ベビーファンドのマザーファンド組 入 上 限 比 率	無制限	
	マ ザ ー フ ァ ン ド の 株 式 組 入 上 限 比 率	無制限	
分 配 方 針	分配対象額は、経費控除後の配当等収益と売買益（評価益を含みます。）等とし、原則として、信託財産の成長に資することを目的に、配当等収益の中から基準価額の水準等を勘案して分配金額を決定します。ただし、配当等収益が少額の場合には、分配を行わないことがあります。		

受益者のみなさまへ

毎々、格別のご愛顧にあずかり厚くお礼申し上げます。

当ファンドは、金先物取引価格の中長期的な値動きをおおむね捉えることで、信託財産の成長をめざしております。当作成期につきましてもそれに沿った運用を行ないました。ここに、運用状況をご報告申し上げます。

今後とも一層のお引立てを賜りますよう、お願い申し上げます。

大和アセットマネジメント

Daiwa Asset Management

大和アセットマネジメント株式会社
東京都千代田区丸の内一丁目 9 番 1 号
お問い合わせ先（コールセンター）
TEL 0120-106212
（営業日の 9：00～17：00）
<https://www.daiwa-am.co.jp/>

設定以来の運用実績

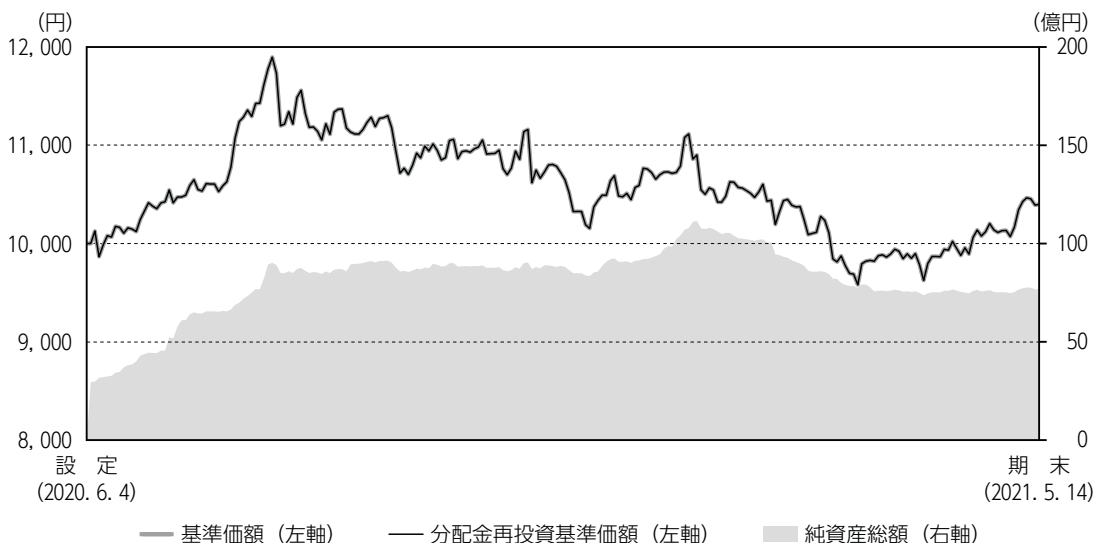
決 算 期	基 準 価 額			公 社 債 組 入 比 率	投 資 信 託 受 益 証 券 組 入 比 率	商 品 先 物 比 率	純 資 産 総 額
	(分配落)	税 込 配 金	期 中 騰 落 率				
1 期末（2021年 5 月14日）	円 10,398	円 0	% 4.0	% 64.2	% —	% 99.6	百万円 7,667

(注 1) 基準価額の騰落率は分配金込み。
(注 2) 組入比率は、マザーファンドの組入比率を当ファンドベースに換算したものを含みます。
(注 3) 公社債組入比率は新株予約権付社債券（転換社債券）および債券先物を除きます。
(注 4) 商品先物比率は買建比率－売建比率です。
(注 5) 当ファンドは、ファンドの運用方針に対して適切な比較指数がないため、ベンチマークおよび参考指数を記載しておりません。



運用経過

基準価額等の推移について



* 分配金再投資基準価額は、分配金（税込み）を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。

* 分配金を再投資するかどうかについては、お客さまがご利用のコースにより異なります（分配金を自動的に再投資するコースがないファンドもあります）。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。したがって、お客さまの損益の状況を示すものではありません。

基準価額・騰落率

設定時：10,000円

期 末：10,398円（分配金 0 円）

騰落率：4.0%（分配金込み）

基準価額の主な変動要因

マザーファンドを通じて金先物取引にほぼ100%投資した結果、金先物価格の上昇に伴い、当ファンドの基準価額も上昇しました。くわしくは「投資環境について」および「ポートフォリオについて」をご参照ください。

ダイワ・ゴールド・ファンド（ダイワ投資一任専用）

年 月 日	基 準 価 額		公 社 債 率 組 入 比	投 資 信 託 券 率 受 益 証 比	商 品 先 物 率 比
	円	騰 落 率 %			
(期 首) 2020年 6 月 4 日	10,000	—	—	—	—
6 月末	10,426	4.3	70.3	—	114.1
7 月末	11,294	12.9	60.0	—	100.9
8 月末	11,337	13.4	62.3	—	98.8
9 月末	10,920	9.2	64.5	—	100.4
10 月末	10,700	7.0	65.4	—	100.0
11 月末	10,191	1.9	67.0	—	99.5
12 月末	10,724	7.2	61.2	—	101.0
2021年 1 月末	10,470	4.7	67.7	—	100.5
2 月末	10,109	1.1	58.9	—	100.6
3 月末	9,626	△ 3.7	67.0	—	100.4
4 月末	10,072	0.7	65.9	—	99.8
(期 末) 2021年 5 月14日	10,398	4.0	64.2	—	99.6

(注) 期末基準価額は分配金込み、騰落率は期首比。

投資環境について

(2020. 6. 4 ~ 2021. 5. 14)

金市況

金市況は、当作成期を通じて上昇しました。

金市況は、当作成期首より、世界的な新型コロナウイルスの感染拡大懸念に伴う先行き不透明感から、上昇して始まりました。しかし2020年9月以降は、F R B（米国連邦準備制度理事会）が市場の想定より金融緩和に積極的でないとの見方が広がったことや、米国で追加経済対策への思惑が強まったこと、またワクチン開発に係る臨床試験において有効な結果が出たとの報告が相次いだことなど、経済の先行きに対する楽観的な見方が広がり、金価格は下落しました。12月以降は、欧米を中心に感染が再拡大すると、安全資産である金に見直し買いが入り、上昇に転じました。その後は、米国バイデン新政権による大規模な追加経済対策やワクチン普及によって米国景気が想定以上に早く回復するとの見方が強まったため、再度下落基調となり、当作成期末を迎えました。

為替相場

米ドル対円為替相場は、上昇しました。

米ドル対円為替相場は、当作成期首より、世界的な経済活動の再開期待から市場のリスク選好度が強まったことで、円安となったものの、2020年8月から年末にかけては、新型コロナウイルスの感染再拡大などから市場のリスク回避姿勢が強まったことで、円高傾向となりました。2021年に入ると、米国の追加経済対策への期待が高まったことや、世界的にワクチン接種が進み感染状況が改善基調にあることなどから市場のリスク選好度が強まり、おおむね円安傾向となりました。

短期金融市況

当作成期首より、日銀のマイナス金利政策の影響により、短期の国債利回りおよび無担保コール翌日物金利はマイナス圏で推移しました。

ポートフォリオについて

(2020. 6. 4 ~ 2021. 5. 14)

■当ファンド
「ゴールド・マザーファンド」の受益証券への投資をほぼ100%行いました。

■ゴールド・マザーファンド
金先物取引価格の中長期的な値動きをおおむね捉える投資成果をめざし、原則として金先物投資を行い、実質組入比率は高位（ほぼ100%）を保って運用を行いました。また、日本国債、米国国債にも投資しました。

ベンチマークとの差異について

当ファンドは運用の評価または目標基準となるベンチマークおよび参考指数を設けておりません。

分配金について

当作成期は、経費控除後の配当等収益が計上できなかったため、収益分配を見送らせていただきました。
なお、留保益につきましては、運用方針に基づき運用させていただきます。

■分配原資の内訳（1万口当り）

項 目	当期	
	2020年6月4日 ～2021年5月14日	
当期分配金（税込み）	(円)	—
対基準価額比率	(%)	—
当期の収益	(円)	—
当期の収益以外	(円)	—
翌期繰越分配対象額	(円)	397

(注1) 「当期の収益」は「経費控除後の配当等収益」および「経費控除後の有価証券売買等損益」から分配に充当した金額です。また、「当期の収益以外」は「収益調整金」および「分配準備積立金」から分配に充当した金額です。
(注2) 円未満は切捨てており、当期の収益と当期の収益以外の合計が当期分配金（税込み）に合致しない場合があります。
(注3) 当期分配金の対基準価額比率は当期分配金（税込み）の期末基準価額（分配金込み）に対する比率で、ファンドの収益率とは異なります。



今後の運用方針

■当ファンド

引き続き、主として「ゴールド・マザーファンド」の受益証券に投資します。

■ゴールド・マザーファンド

原則として金先物投資を行い、実質組入比率は高位（ほぼ100%）を保って運用を行うことによって、金先物取引価格の動きに連動する投資成果をめざした運用を継続する方針です。

1 万口当りの費用の明細

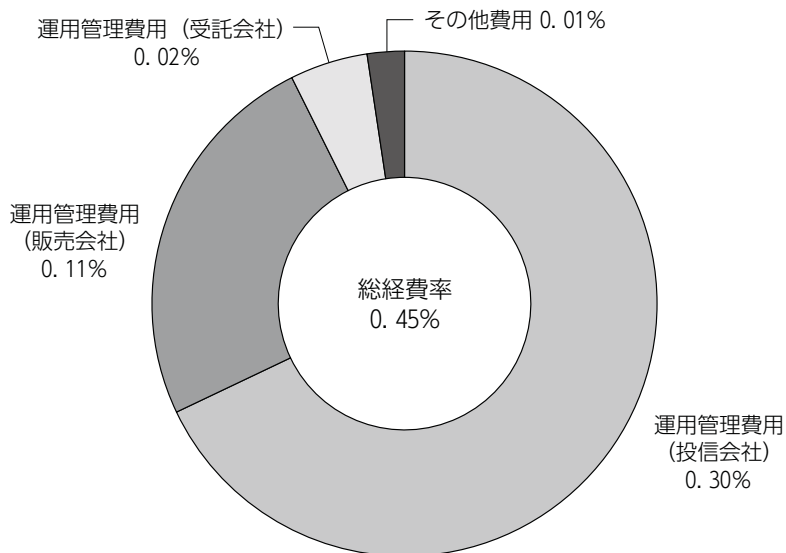
項 目	当 期 (2020. 6. 4～2021. 5. 14)		項 目 の 概 要
	金 額	比 率	
信 託 報 酬	43円	0. 410%	信託報酬＝当作成期中の平均基準価額×信託報酬率 当作成期中の平均基準価額は10, 568円です。
(投 信 会 社)	(30)	(0. 286)	投信会社分は、ファンドの運用と調査、受託会社への運用指図、基準価額の計算、法定書面等の作成等の対価
(販 売 会 社)	(11)	(0. 104)	販売会社分は、運用報告書等各种書類の送付、口座内での各ファンドの管理、購入後の情報提供等の対価
(受 託 会 社)	(2)	(0. 021)	受託会社分は、運用財産の管理、投信会社からの指図の実行の対価
売買委託手数料	3	0. 028	売買委託手数料＝当作成期中の売買委託手数料／当作成期中の平均受益権口数 売買委託手数料は、有価証券等の売買の際、売買仲介人に支払う手数料
(先物・オプション)	(3)	(0. 028)	
有価証券取引税	—	—	有価証券取引税＝当作成期中の有価証券取引税／当作成期中の平均受益権口数 有価証券取引税は、有価証券の取引の都度発生する取引に関する税金
そ の 他 費 用	1	0. 010	その他費用＝当作成期中のその他費用／当作成期中の平均受益権口数
(保 管 費 用)	(0)	(0. 000)	保管費用は、海外における保管銀行等に支払う有価証券等の保管および資金の送金・資産の移転等に要する費用
(監 査 費 用)	(1)	(0. 008)	監査費用は、監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用
(そ の 他)	(0)	(0. 002)	信託事務の処理等に関するその他の費用
合 計	47	0. 448	

- (注1) 当作成期中の費用（消費税のかかるものは消費税を含む）は追加、解約によって受益権口数に変動があるため、項目の概要の簡便法により算出した結果です。
- (注2) 各金額は項目ごとに円未満を四捨五入してあります。
- (注3) 各比率は1万口当りのそれぞれの費用金額を当作成期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、小数点第3位未満を四捨五入してあります。
- (注4) 組み入れているマザーファンドがある場合、売買委託手数料、有価証券取引税およびその他費用は、当該マザーファンドが支払った金額のうち、このファンドに対応するものを含みます。組み入れている投資信託証券（マザーファンドを除く。）がある場合、各項目の費用は、当該投資信託証券が支払った費用を含みません。なお、当該投資信託証券の直近の計算期末時点における「1万口当りの費用の明細」が取得できるものについては「組入上位ファンドの概要」に表示することとしております。

参考情報

■ 総経費率

当作成期中の運用・管理にかかった費用の総額を、期中の平均受益権口数に期中の平均基準価額（1口当り）を乗じた数で除した総経費率（年率）は0.45%です。



（注1）1万口当りの費用明細において用いた簡便法により算出したものです。

（注2）各費用は、原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を含みません。

（注3）各比率は、年率換算した値です。

■売買および取引の状況
親投資信託受益証券の設定・解約状況

(2020年6月4日から2021年5月14日まで)

	設 定		解 約	
	口 数	金 額	口 数	金 額
	千口	千円	千口	千円
ゴールド・マザーファンド	10,780,679	11,364,755	3,438,104	3,548,456

(注) 単位未満は切捨て。

■利害関係人との取引状況等

(1)ベビーファンドにおける当作成期中の利害関係人との取引状況

当作成期中における利害関係人との取引はありません。

(2)マザーファンドにおける当作成期中の利害関係人との取引状況

(2020年6月4日から2021年5月14日まで)

決 算 期	当 期					
	当 期			当 期		
区 分	買付額等 A	うち利害 関係人との 取引状況B	B/A	売付額等 C	うち利害 関係人との 取引状況D	D/C
	百万円	百万円	%	百万円	百万円	%
公社債	21,527	1,160	5.4	1,318	—	—
商品先物取引	45,337	—	—	37,815	—	—
為替予約	3,575	—	—	2,155	—	—
コール・ローン	582,835	—	—	—	—	—

(注) 平均保有割合100.0%

※平均保有割合とは、マザーファンドの残存口数の合計に対する当該ベビーファンドのマザーファンド所有口数の割合。

(3)当作成期中の売買委託手数料総額に対する利害関係人への支払比率

当作成期中における売買委託手数料の利害関係人への支払いはありません。

※利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人であり、当作成期における当ファンドに係る利害関係人とは、大和証券です。

■組入資産明細表
親投資信託残高

種 類	当 期 末	
	口 数	評 価 額
	千口	千円
ゴールド・マザーファンド	7,342,575	7,666,383

(注) 単位未満は切捨て。

■投資信託財産の構成

2021年5月14日現在

項 目	当 期 末	
	評 価 額	比 率
	千円	%
ゴールド・マザーファンド	7,666,383	99.2
コール・ローン等、その他	63,903	0.8
投資信託財産総額	7,730,286	100.0

(注1) 評価額の単位未満は切捨て。

(注2) 外貨建資産は、期末の時価を対顧客直物電信売買相場の仲値をもとに投資信託協会が定める計算方法により算出されるレートで邦貨換算したものです。なお、5月14日における邦貨換算レートは、1アメリカ・ドル＝109.63円です。

(注3) ゴールド・マザーファンドにおいて、当期末における外貨建純資産(1,275,538千円)の投資信託財産総額(7,712,333千円)に対する比率は、16.5%です。

■資産、負債、元本および基準価額の状況

2021年5月14日現在

項 目	当 期 末
(A)資産	7,730,286,753円
コール・ローン等	18,053,715
ゴールド・マザーファンド (評価額)	7,666,383,038
未収入金	45,850,000
(B)負債	62,520,370
未払解約金	45,340,350
未払信託報酬	16,859,980
その他未払費用	320,040
(C)純資産総額(A-B)	7,667,766,383
元本	7,374,307,876
次期繰越損益金	293,458,507
(D)受益権総口数	7,374,307,876口
1万口当り基準価額(C/D)	10,398円

※期首における元本額は2,942,550,000円、当作成期間中における追加設定元本額は8,124,783,294円、同解約元本額は3,693,025,418円です。

※当期末の計算口数当りの純資産額は10,398円です。

■損益の状況

当期 自2020年 6 月 4 日 至2021年 5 月14日

項 目	当 期
(A) 配当等収益	△ 2, 296円
受取利息	936
支払利息	△ 3, 232
(B) 有価証券売買損益	△ 72, 774, 891
売買益	111, 320, 632
売買損	△ 184, 095, 523
(C) 信託報酬等	△ 33, 979, 267
(D) 当期損益金 (A + B + C)	△ 106, 756, 454
(E) 追加信託差損益金	400, 214, 961
(配当等相当額)	(△ 534)
(売買損益相当額)	(400, 215, 495)
(F) 合計 (D + E)	293, 458, 507
次期繰越損益金 (F)	293, 458, 507
追加信託差損益金	400, 214, 961
(配当等相当額)	(△ 534)
(売買損益相当額)	(400, 215, 495)
繰越損益金	△ 106, 756, 454

- (注 1) 信託報酬等には信託報酬に対する消費税等相当額を含めて表示しております。
- (注 2) 追加信託差損益金とは、追加信託金と元本との差額をいい、元本を下回る場合は損失として、上回る場合は利益として処理されます。
- (注 3) 収益分配金の計算過程は下記「収益分配金の計算過程（総額）」をご参照ください。

■収益分配金の計算過程（総額）

項 目	当 期
(a) 経費控除後の配当等収益	0円
(b) 経費控除後の有価証券売買等損益	0
(c) 収益調整金	293, 461, 337
(d) 分配準備積立金	0
(e) 当期分配対象額 (a + b + c + d)	293, 461, 337
(f) 分配金	0
(g) 翌期繰越分配対象額 (e - f)	293, 461, 337
(h) 受益権総口数	7, 374, 307. 876□

ゴールド・マザーファンド

運用報告書 第1期 (決算日 2021年5月14日)

(作成対象期間 2020年6月4日～2021年5月14日)

ゴールド・マザーファンドの運用状況をご報告申し上げます。

★当ファンドの仕組みは次の通りです。

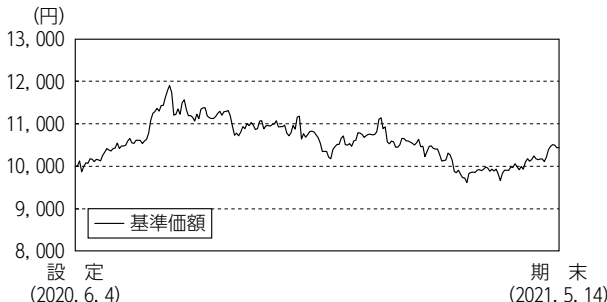
運用方針	信託財産の成長をめざして運用を行ないます。
主要投資対象	次の有価証券および先物取引を主要投資対象とします。 イ. 米国の商品取引所に上場されている金先物取引 ロ. 日本国債 ハ. 米国国債 ニ. 金価格への連動をめざす米ドル建てETF (上場投資信託証券)
株式組入制限	無制限

大和アセットマネジメント

Daiwa Asset Management

大和アセットマネジメント株式会社
東京都千代田区丸の内一丁目9番1号
<https://www.daiwa-am.co.jp/>

■当作成期中の基準価額と市況等の推移



年 月 日	基 準 価 額		公 社 債 組 入 率	投資信託 受益証券 組入比率	商品先物 比 率
	円	騰 落 率			
(設定) 2020年 6月 4日	10,000	—	—	—	—
6月末	10,429	4.3	70.3	—	114.1
7月末	11,302	13.0	60.0	—	100.9
8月末	11,349	13.5	62.3	—	98.9
9月末	10,935	9.4	64.5	—	100.4
10月末	10,719	7.2	65.4	—	100.0
11月末	10,213	2.1	67.0	—	99.6
12月末	10,751	7.5	61.2	—	101.0
2021年 1月末	10,500	5.0	67.7	—	100.5
2月末	10,141	1.4	58.9	—	100.6
3月末	9,661	△ 3.4	67.0	—	100.4
4月末	10,112	1.1	65.9	—	99.8
(期末) 2021年 5月14日	10,441	4.4	64.3	—	99.6

- (注1) 騰落率は設定比。
 (注2) 公社債組入比率は新株予約権付社債券（転換社債券）および債券先物を除きます。
 (注3) 商品先物比率は買建比率－売建比率です。
 (注4) 当ファンドは、ファンドの運用方針に対して適切な比較指数がないため、ベンチマークおよび参考指数を記載しておりません。

《運用経過》

◆基準価額等の推移について

【基準価額・騰落率】

設定時：10,000円 期末：10,441円 騰落率：4.4%

【基準価額の主な変動要因】

金先物取引への投資を行った結果、金先物価格の上昇に伴い、当ファンドの基準価額も上昇しました。

◆投資環境について

○金市況

金市況は、当作成期を通じて上昇しました。

金市況は、当作成期首より、世界的な新型コロナウイルスの感染拡大懸念に伴う先行き不透明感から、上昇して始まりました。しかし2020年9月以降は、F R B（米国連邦準備制度理事会）が市場の

想定より金融緩和に積極的でないと見方が広がったことや、米国の追加経済対策への思惑が強まったこと、またワクチン開発に係る臨床試験において有効な結果が出たとの報告が相次いだことなど、経済の先行きに対する楽観的な見方が広がり、金価格は下落しました。12月以降は、欧米を中心に感染が再拡大すると、安全資産である金に見直し買いが入り、上昇に転じました。その後は、米国バイデン新政権による大規模な追加経済対策やワクチン普及によって米国景気が想定以上に早く回復するとの見方が強まったため、再度下落基調となり、当作成期末を迎えました。

○為替相場

米ドル対円為替相場は、上昇しました。

米ドル対円為替相場は、当作成期首より、世界的な経済活動の再開期待から市場のリスク選好度が強まったことで、円安となったものの、2020年8月から年末にかけては、新型コロナウイルスの感染再拡大などから市場のリスク回避姿勢が強まったことで、円高傾向となりました。2021年に入ると、米国の追加経済対策への期待が高まったことや、世界的にワクチン接種が進み感染状況が改善基調にあることなどから市場のリスク選好度が強まり、おおむね円安傾向となりました。

○短期金融市況

当作成期首より、日銀のマイナス金利政策の影響により、短期の国債利回りおよび無担保コール翌日物金利はマイナス圏で推移しました。

◆ポートフォリオについて

金先物取引価格の中長期的な値動きをおおむね捉える投資成果をめざし、原則として金先物投資を行い、実質組入比率は高位（ほぼ100%）を保って運用を行いました。また、日本国債、米国国債にも投資しました。

◆ベンチマークとの差異について

当ファンドは運用の評価または目標基準となるベンチマークおよび参考指数を設けておりません。

《今後の運用方針》

原則として金先物投資を行い、実質組入比率は高位（ほぼ100%）を保って運用を行うことによって、金先物取引価格の動きに連動する投資成果をめざした運用を継続する方針です。

■1万口当りの費用の明細

項 目	当 期
売買委託手数料 (先物・オプション)	3円 (3)
有価証券取引税	—
その他費用 (保管費用) (その他)	0 (0) (0)
合 計	3

(注1) 費用の項目および算法については前掲しております項目の概要をご参照ください。

(注2) 項目ごとに円未満を四捨五入してあります。

ゴールド・マザーファンド

■売買および取引の状況
公 社 債

(2020年6月4日から2021年5月14日まで)

		買 付 額	売 付 額
国内	国債証券	千円 19,705,094	千円 —
		(15,300,000)	(15,300,000)
外国	アメリカ 国債証券	千アメリカ・ドル 17,095	千アメリカ・ドル 12,299
		(—)	(—)

(注1) 金額は受渡し代金（経過利子分は含まれておりません）。
(注2) ()内は償還による減少分で、上段の数字には含まれておりません。
(注3) 単位未満は切捨て。

■先物・オプション取引状況等
先物取引の銘柄別取引状況・残高状況

(2020年6月4日から2021年5月14日まで)

銘 柄 別		買 建		売 建		当 作 成 期 末 評 価 額		
		新規買付額	決 済 額	新規売付額	決 済 額	買 建 額	売 建 額	評価損益
外国	商品 GOLD 100 OZ (アメリカ)	百万円 45,337	百万円 37,815	百万円 —	百万円 —	百万円 7,638	百万円 —	百万円 368

(注) 単位未満は切捨て。

■主要な売買銘柄
公 社 債

(2020年6月4日から2021年5月14日まで)

当			期			
買		付	売		付	
銘		柄	銘		柄	
		金			金	
		額			額	
		千円			千円	
962	国庫短期証券	2021/4/5	1,800,363	U. S. TREASURY BILL (アメリカ)	2021/3/25	597,829
940	国庫短期証券	2021/1/6	1,200,612	U. S. TREASURY BILL (アメリカ)	2020/12/31	413,993
984	国庫短期証券	2021/7/12	1,200,279	U. S. TREASURY BILL (アメリカ)	2020/9/24	306,819
918	国庫短期証券	2020/9/28	1,200,245			
983	国庫短期証券	2021/7/5	1,100,272			
934	国庫短期証券	2020/12/7	900,298			
979	国庫短期証券	2021/6/21	900,248			
948	国庫短期証券	2021/2/8	900,210			
956	国庫短期証券	2021/3/15	900,200			
926	国庫短期証券	2020/11/2	900,171			

(注1) 金額は受渡し代金（経過利子分は含まれておりません）。
(注2) 単位未満は切捨て。

■組入資産明細表

(1)国内（邦貨建）公社債（種類別）

作成期	当 期				末		
区 分	額 面 金 額	評 価 額	組入比率	うちＢＢ格以下組入率	残存期間別組入比率		
					5年以上	2年以上	2年未満
国債証券	千円 4,400,000	千円 4,400,515	% 57.4	% —	% —	% —	% 57.4

(注 1) 組入比率は、純資産総額に対する評価額の割合。
(注 2) 額面金額、評価額の単位未満は切捨て。
(注 3) 評価額および格付情報については金融商品取引業者、価格情報会社等よりデータを入手しています。

(2)国内（邦貨建）公社債（銘柄別）

当 期		末			
区 分	銘 柄	年利率	額 面 金 額	評 価 額	償還年月日
国債証券	976 国庫短期証券	— %	千円 600,000	千円 600,042	2021/06/07
	977 国庫短期証券	—	600,000	600,052	2021/06/14
	979 国庫短期証券	—	900,000	900,097	2021/06/21
	983 国庫短期証券	—	1,100,000	1,100,152	2021/07/05
	984 国庫短期証券	—	1,200,000	1,200,170	2021/07/12
合 計	銘柄数 金 額	5銘柄	4,400,000	4,400,515	

(注) 単位未満は切捨て。

(3)外国（外貨建）公社債（通貨別）

作 成 期	当 期				末			
区 分	額 面 金 額	評 価 額		組入比率	うちＢＢ格以下組入率	残存期間別組入比率		
		外 貨 建 金 額	邦貨換算金額			5 年以上	2 年以上	2 年未満
アメリカ	千アメリカ・ドル 4,800	千アメリカ・ドル 4,799	千円 526,207	% 6.9	% —	% —	% —	% 6.9

(注 1) 邦貨換算金額は、期末の時価を対顧客直物電信売買相場の仲値をもとに投資信託協会が定める計算方法により算出されるレートで邦貨換算したものです。
(注 2) 組入比率は、純資産総額に対する評価額の割合。
(注 3) 額面金額、評価額の単位未満は切捨て。
(注 4) 評価額および格付情報については金融商品取引業者、価格情報会社等よりデータを入手しています。

(4)外国（外貨建）公社債（銘柄別）

当 期		末					
区 分	銘 柄	種 類	年利率	額 面 金 額	評 価 額		償還年月日
					外 貨 建 金 額	邦 貨 換 算 金 額	
アメリカ	U.S. TREASURY BILL	国債証券	% —	千アメリカ・ドル 4,800	千アメリカ・ドル 4,799	千円 526,207	2021/06/24

(注 1) 邦貨換算金額は、期末の時価を対顧客直物電信売買相場の仲値をもとに投資信託協会が定める計算方法により算出されるレートで邦貨換算したものです。
(注 2) 額面金額、評価額の単位未満は切捨て。

ゴールド・マザーファンド

■投資信託財産の構成

項 目	2021年 5月14日現在	
	当 期 末	
	評 価 額	比 率
	千円	%
公社債	4,926,722	63.9
コール・ローン等、その他	2,785,610	36.1
投資信託財産総額	7,712,333	100.0

(注1) 評価額の単位未満は切捨て。
(注2) 外貨建資産は、期末の時価を対顧客直物電信売買相場の仲値をもとに投資信託協会が定める計算方法により算出されるレートで邦貨換算したものです。なお、5月14日における邦貨換算レートは、1アメリカ・ドル＝109.63円です。
(注3) 当期末における外貨建純資産（1,275,538千円）の投資信託財産総額（7,712,333千円）に対する比率は、16.5%です。

■資産、負債、元本および基準価額の状況

項 目	2021年 5月14日現在
当 期 末	
(A)資産	8,238,557,115円
コール・ローン等	2,036,326,195
公社債（評価額）	4,926,722,582
未収入金	368,815,053
差入委託証拠金	906,693,285
(B)負債	572,074,000
未払解約金	45,850,000
差入委託証拠金代用有価証券	526,224,000
(C)純資産総額（A－B）	7,666,483,115
元本	7,342,575,461
次期繰越損益金	323,907,654
(D)受益権総口数	7,342,575,461口
1万口当り基準価額（C／D）	10,441円

* 期首における元本額は2,942,260,000円、当作成期間中における追加設定元本額は7,838,419,604円、同解約元本額は3,438,104,143円です。
* 当期末における当マザーファンドを投資対象とする投資信託の元本額は、ダイワ・ゴールド・ファンド（ダイワ投資一任専用）7,342,575,461円です。
* 当期末の計算口数当りの純資産額は10,441円です。

■損益の状況

項 目	当期	自2020年 6月 4日 至2021年 5月14日
当 期		
(A)配当等収益	△	4,986,095円
受取利息	△	4,165,297
支払利息	△	820,798
(B)有価証券売買損益		54,154,668
売買益		69,847,273
売買損	△	15,692,605
(C)先物取引等損益	△	198,812,623
取引益		1,307,058,099
取引損	△	1,505,870,722
(D)その他費用	△	171,835
(E)当期損益金（A＋B＋C＋D）	△	149,815,885
(F)解約差損益金	△	110,351,857
(G)追加信託差損益金		584,075,396
(H)合計（E＋F＋G）		323,907,654
次期繰越損益金（H）		323,907,654

(注1) 解約差損益金とは、一部解約時の解約価額と元本との差額をいい、元本を下回る場合は利益として、上回る場合は損失として処理されます。
(注2) 追加信託差損益金とは、追加信託金と元本との差額をいい、元本を下回る場合は損失として、上回る場合は利益として処理されます。